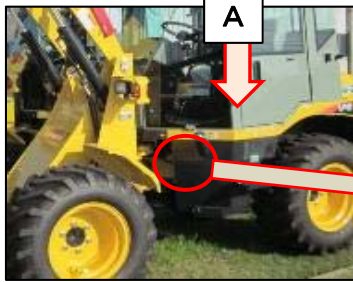


改善箇所説明図

不具合①

不具合発生箇所



ワイヤーハーネス(メイン)と
ワイヤーハーネス(フロント)の
集合カプラー部



Aから見る



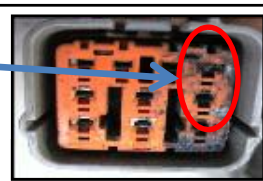
不具合の内容

ワイヤハーネス(メイン)



カプラー内部に水が浸入し、端子が腐食する。

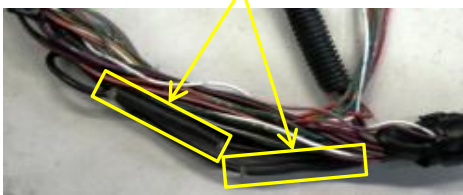
ワイヤハーネス(フロント)



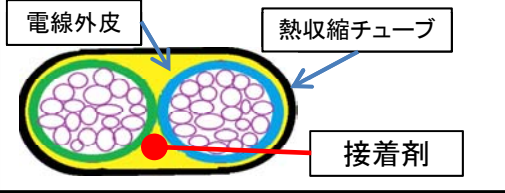
改善の内容

1. 端子が腐食しているものは、ハーネスを対策品に交換する。

接着剤入り熱収縮チューブ(2箇所)

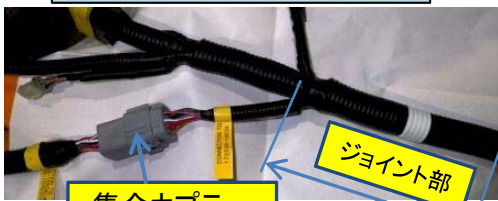


熱収縮チューブ(接着剤付)

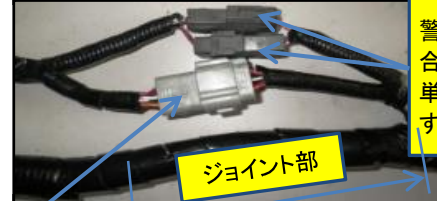


2. 端子に腐食が無いものは、ハーネスの配策を変更し単極防水カプラーを追加する。

対策前ハーネスジョイント部



対策後ハーネスジョイント部



警音器とアース回路を集合カプラーから切り離し単極防水カプラーで接続する

不具合の内容

ショベルローダのワイヤーハーネスにおいて、当該ハーネスを保護するコルゲートチューブ内部に水が溜った状態で冷熱サイクルを繰り返すと、毛細管現象により水がハーネスジョイント部から電気配線を伝わり集合カプラー内部に浸入する場合があります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、集合カプラー内部の端子が腐食して通電しなくなること、警音器、方向指示器、前照灯の作動不良、エンジンの始動不良が起こるおそれがある。

改善の内容

全車両、集合カプラー内部の端子の状態を確認し、端子が腐食しているものは、ハーネスを対策品に交換する。端子に腐食が無いものは、ハーネスの配策を変更し単極防水カプラーを追加する。

識別

フロントフレーム左側支柱部にステッカーNo. 3255を貼り付ける。